



予餞会

2020年もそろそろ終わりですね。12月に入り、毎日寒いですが、皆さん元気に過ごしていますか？教室はストーブが使えるようになりましたね。しかし、ストーブから遠い人は、ストーブがついても寒い…、ストーブが近い人は眠くなってしまおう…！？なんてこともありますよね。そして、寒いと手が悴み、ペンを握る力が出ない…なんてこともあるのではないのでしょうか。

そんな時期ですが、休み時間にしっかり換気をし、新鮮な空気を教室に入れ、シャキッとした状態で冬の授業も乗り切りましょう！期末考査も返却され、2学期も残り少し！元気に頑張りましょう！

12月22日には予餞会が行われます。予餞会実行委員会の活動方針『感謝を倍返した！』のもと、各クラス・団体で準備を進めていることと思いますが、順調ですか？

予餞会とは・・・

ところで皆さん、“予餞（よせん）会”、読めましたか？「餞」の字、少し難しいですよ。訓読みは“はなむけ”です。この「餞」という字が使われている“予餞会”ですが、これは卒業式の前に、予め（あらかじめ）、餞（はなむけ）をする会のことです。いわゆる、三送会・三年生を送る会のようなものです。

ここで、“はなむけ”という言葉について少し話をします。“卒業生に、はなむけの言葉を贈る”などは聞いたことがあるのではないのでしょうか。そもそも、この“はなむけ”とはどういう意味かわかりますか？

“はなむけ”という言葉は、【馬の鼻向け】に由来しているそうです。

昔は、旅立つ人が乗っている馬の鼻を行くべき方へ向け、安全を祈って見送るという習慣があったようです。旅立ちや門出のときにその人に品物・金銭または詩歌などを贈ること、またその品をはなむけと言います。

予餞会は、卒業式前の2月頃に行う学校も多いのですが、1月以降は受験が本格的に始まるということもあり、越ヶ谷高校の予餞会は12月に行われます。そのため私たちは、**3年生への感謝の気持ちを伝える&受験に向かっていく3年生を激励する**という意味を込めて予餞会を行うのです。



今年の予餞会は・・・

例年は、全校生徒が体育館に集まる形で行われますが、今年は教室でのリモート鑑賞という形での実施となります。3年生の反応を直接見ることができず残念ではありますが、3年生の喜ぶ顔・感動する顔を想像しながら、行事に参加してみてください。

クラスや有志団体によるステージ発表、動画発表、装飾があります。各団体どのように3年生へ思いを伝えるのか、楽しみですね。皆で3年生の心に残る予餞会にしましょう！！

